

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 福寿草作成日: 平成 25 年 01 月 30 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族によっては、面会や、行事参加が多い方や、都合で参加できない家族があり、家族全員に、利用者の暮らし振りや健康状態等が、報告出来、利用者や家族から、今以上に、意見や要望が聴きだせる体制を整える。	遠方の家族や、仕事上なかなか面会できない家族にも、利用者が、ホームでどのように暮らしているのか、健康状態はどうなのか、食事のメニュー等、家族が安心出来る報告を兼ねた、事業所便りを定期的に作成し、信頼の絆を深めていく。	12ヶ月
2		職員の介護力の向上とチームワークについて	利用者の重度化が進む中で、限られた職員の人数で、サービスの質を維持していくことが、困難にならないように、職員の意識を高め、技術力を向上して、利用者や家族に満足してもらう介護サービスの提供を目指していく。	職員の経験や、習熟度に合わせて、外部研修に派遣し、意識改革と介護技術の向上を目指し、報告会を兼ねた内部研修で、職員全員が知識を得て、共有し、職員のチーム介護で利用者に、満足してもらう介護を実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。